

富山市

～上下水道局が発行する情報紙～

上下水道局だより

創刊号

vol.1

2025年7月



初夏の百間滑（富山市大山地域）

創刊にあたって

富山市の水道事業は、1935年（昭和10年）10月に一部地域で通水が開始されてから今年で90周年を迎えます。その後80年前の1945年（昭和20年）8月2日未明の富山大空襲で市街地の99.5%が焦土と化した富山市は、先人の並々ならぬ情熱と弛まぬ努力により戦災からの復興を果たし、市勢の進展に伴う水需要の増大に対応しながら日本海側有数の中核都市へと発展を遂げてきました。

20年前の2005年（平成17年）4月の7市町村による合併の結果、1つの経営体の下で給水区域や下水道処理区域が拡大され、水道事業と公共下水道事業の実質的な広域化が実現したことで、安価な料金で良質なサービスが利用者へ提供される体制が整いました。

一方、近年、人口減少による収益の減少、施設の老朽化や頻発する自然災害への対応、技術職員の不足など、地方公営企業である上下水道事業はさまざまな課題を抱えており、将来にわたり持続可能な事業運営が危ぶまれる状況にあります。

言うまでもなく、上下水道は時代を超えて必要不可欠な基盤インフラであり、今を生きる私たちは、先人から受け継いだ上下水道システムを貴重なレガシー（遺産）として大切に守り、後世に引き継いでいく役割を担っています。

このたび上下水道局は、いくつもの歴史の節目を迎える2025年（令和7年）に、情報紙「上下水道局だより」を新たに発行することといたしました。今後、定期的に利用者（市民）の皆様に必要な情報をお届けしてまいります。

これを読まれた方々が、上下水道の役割や重要性を深く認識され、市民共有の財産である上下水道を末永く大切に利用していただける一つのきっかけになれば幸いです。

令和7年7月

富山市上下水道事業管理者

令和 8 年

4月1日
から

持続可能な上下水道をめざして

上下水道料金を 見直します

災害に強く、信頼性の高い強靱な上下水道を構築し、将来にわたり、安全・安心なサービスの提供と健全な事業運営を行うため、料金改定を行います。利用者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

主な改定内容

水道料金

一般家庭で平均 **+451円** (1カ月 20m³使用)

平均改定率 27.0%

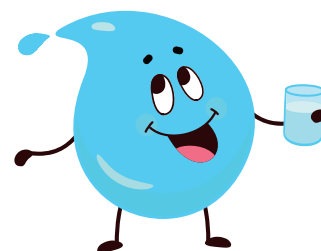
下水道使用料

一般家庭で平均 **+377円** (1カ月 20m³排水)

平均改定率 19.4%



みなさまの疑問に
お答えします



Q

いつから値上がりするの？



A

令和 8 年 6 月定期検針分 (7 月支払) から、
新しい料金及び使用料が適用されます。



Q 上下水道料金の値上げはどのようにして決まったの？

A

令和6年度に、学識経験者や公募委員を含む市民の代表などで構成する富山市上下水道事業経営審議会を設置し、「上下水道事業における適正な水道料金等の設定」について諮問しました。

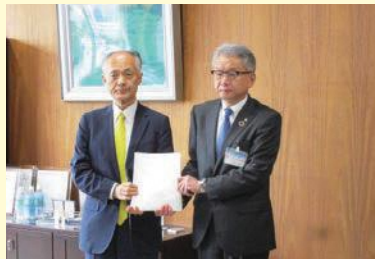
この審議会では、上下水道事業の経営状況や施設の更新・耐震化計画などから、料金改定の必要性や改定する場合の改定幅などについて、計6回にわたり丁寧な審議が行われ、今年5月に「料金等の改定が必要である」との答申をいただきました。

これを受けて、令和7年6月富山市議会で、上下水道料金等を改定するための議案が可決承認され、令和8年4月からの上下水道料金の改定が決定しました。

未来のこと
考えています



経営審議会での審議の様子



経営審議会の会長から
答申書が交付される(令和7年5月14日)

審議会の内容は市ホームページに掲載しています。



Q なぜ料金改定が必要なの？

A

平成17年の市町村合併後、平成20年4月に上下水道料金等を改定して以降、現在まで据え置いてきました(現在、富山市の上下水道料金は、県内10市の中で最も低い水準にあります)。

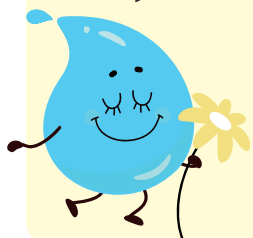
しかし、人口減少による収益の減少や、上下水道施設の老朽化の進行、耐震化などの災害対応、物価・エネルギーコストの上昇などにより、現行料金のままでは、現在のようなサービス水準を維持していくことは困難となりつつあります。

施設の適切な維持管理を行い、将来にわたり安全で安定した上下水道サービスを提供し続けるには、必要な設備の更新(老朽化対策)や災害対策(耐震化)のための投資を着実に実行することが不可欠であり、これらへの対応のため料金改定が必要となります。

このままじゃ
いけないの？



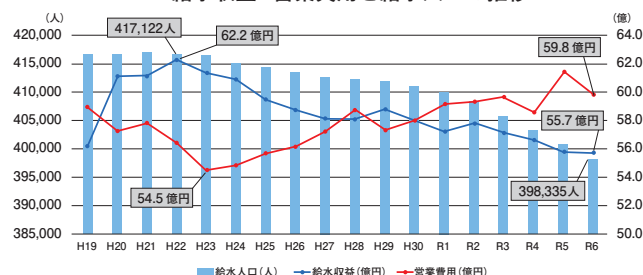
みなさまのご理解を
お願いします



水道事業の状況

給水人口の減少に伴い、
給水収益も減少している。
一方で、営業費用は
増加傾向となっている。

給水収益・営業費用と給水人口の推移



Q 上下水道料金はどのくらい値上がりするの？



A

料金表は、広報とやま 7月20日号に掲載しています。
具体的な料金例は次のとおりです。

●少量使用世帯(独居高齢者など)

月 8 m³ 使用の場合(税込)

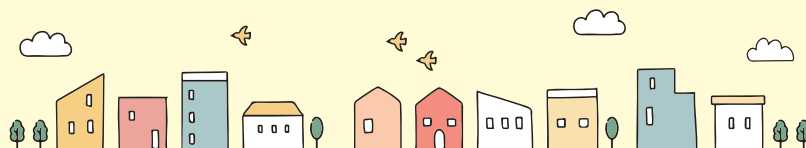
	現 行	改定後	現行との差額
水道料金 (月額)	9 6 8 円	1, 2 9 1 円	+ 3 2 3 円
下水道使用料 (月額)	1, 1 8 8 円	1, 5 0 5 円	+ 3 1 7 円
合計 (月額)	2, 1 5 6 円	2, 7 9 6 円	+ 6 4 0 円

●標準使用世帯(夫婦と子ども2人の世帯など)

月 23 m³ 使用の場合(税込)

	現 行	改定後	現行との差額
水道料金 (月額)	2, 7 3 9 円	3, 2 5 2 円	+ 5 1 3 円
下水道使用料 (月額)	3, 6 4 1 円	4, 0 6 4 円	+ 4 2 3 円
合計 (月額)	6, 3 8 0 円	7, 3 1 6 円	+ 9 3 6 円

※上下水道料金は、2カ月分をまとめて請求しています。



上下水道料金の支払いは口座振替が便利です

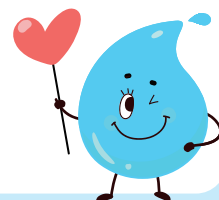
口座振替を利用すると、支払いの手間が省け、うっかり納め忘れを防げます。ぜひご利用ください。

●便利な「毎月払い」を選べます

現金やスマホ決済では2カ月分をまとめてお支払いいただいておりますが、口座振替をご利用いただく場合、「毎月払い」も選択することができます。(毎月払いの場合でも水道メーターの検針は2カ月に1回です)

●口座振替の手続き方法

富山市指定の金融機関や上下水道局窓口で手続きができます。
また、富山市ホームページ (No.1013020) から申し込みができます。



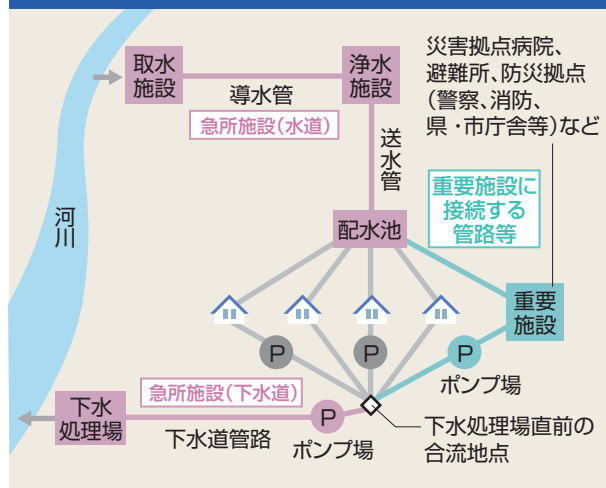
上下水道施設の耐震化に取り組めます

令和6年能登半島地震では、上下水道施設に甚大な被害が発生しました。特に浄水施設や下水処理場などの上下水道システムの急所施設が機能停止に陥ったことによって、広範囲かつ長期間にわたり、市民生活などに影響が生じることとなりました。

また、避難所や医療機関などで上下水道を安定的に使えることの大切さが再確認されたことから、富山市では、令和7年2月に①上下水道システムの急所施設、②避難所等の重要施設に接続する上下水道管路など下一体で耐震化を推進する「富山市上下水道耐震化計画（令和7年度～令和11年度）」を策定しました。

この計画では、これまで優先的に取り組んできた配水幹線の耐震化に加え、導水管及び送水管の耐震化や下水処理場の耐水化など事業費で約64億円規模の投資を前倒しすることで、**早期に強靱な上下水道システムを構築し、持続可能なサービスの安定的な提供を目指します。**

「上下水道耐震化計画」の策定について



の施設の耐震化を推進予定です

出典：国土交通省資料

今後5年間の上下水道施設の耐震化の基本的な考え方

①上下水道システムの急所施設に係る取組み

概算事業費
約57億円

【水道事業】 概算事業費 約28億円

- 従来から取り組んでいる配水幹線の耐震化の推進に加え、令和9年度以降に予定していた導水管及び送水管の更新と耐震化の前倒し

取組み目標	年次	導水管 (総延長31km)	送水管 (総延長82km)	配水管 (R5:総延長3,093km R11:総延長3,143km)	配水幹線 (配水管のうち 口径350mm以上の 基幹管路 (総延長102km))
	R5年度末	18.7% (5.8km)	26.9% (22.1km)	44.9% (1,389.8km)	73.2% (74.7km)
	R11年度末	36.8% (11.4km)	33.4% (27.4km)	46.9% (1,475.2km)	83.3% (85.0km)

【下水道事業】 概算事業費 約29億円

- 下水処理場などの耐震化及び老朽化対策に合わせた耐水化の前倒し

②避難所等の重要施設に接続する水道・下水道管路等に係る取組み

概算事業費
約7億円

【下水道事業】(前倒し分)

- 緊急輸送道路に係るマンホールの耐震化の前倒し
- 避難所などの重要施設から下水処理場までの管路の耐震化の前倒し

【水道事業】(通常分)

- 避難所(給水拠点)に接続する配水管の耐震化

*第2次中長期ビジョンの計画を継続して事業の進捗を図る。

取組み目標

R5年度末	94力所
R11年度末	102力所

配水幹線の耐震化



配水池の耐震化



施工前



施工後

計画的に耐震化に取り組んでいきます





あなたのまちでタウンミーティング開催!

全11回

上下水道事業に関するタウンミーティングを開催します。上下水道施設の老朽度や耐震化への取組み、料金改定の必要性和改定内容などについて説明します。ぜひご参加ください。

日 程	場 所	日 程	場 所
7月26日(土) 10:00~11:30	まちなか総合ケアセンター	10月 4日(土) 10:00~11:30	職業訓練センター
8月 2日(土) 10:00~11:30	呉羽会館	10月 5日(日) 10:00~11:30	岩瀬カナル会館
8月23日(土) 10:00~11:30	大沢野会館	10月18日(土) 10:00~11:30	富南会館
14:00~15:30	細入公民館	14:00~15:30	大山会館
9月28日(日) 10:00~11:30	山田公民館	10月25日(土) 10:00~11:30	婦中ふれあい館
14:00~15:30	八尾コミュニティセンター		

市民公開講座

上下水道インフラについて、経営的な視点からお話しいたします。
費用・申込不要です。ぜひお越しください。



日 時 令和7年11月15日(土)13:30~15:40(開場13:00)

会 場 富山国際会議場 3階メインホール

テーマ 差し迫る、上下水道クライシス

講師

うらかみ たくや
浦上 拓也 さん
近畿大学 経営学部 教授



令和7年
9月1日
から

市役所西館2階に

お客さまサービスステーションを開設します

上下水道に関する情報発信やマンホールカードの配布、デザインマンホールを設置予定です。
お気軽にお立ち寄りください。

富山市上下水道局では、このような業務をしています。

所属名	電話番号	主な業務
経営管理課	432-8624	経営企画、事業計画・財政計画、統計・広報など
契約出納課	432-8518	決算の調整、資金運用、財産取得・管理、契約、工事検査など
料金課	432-8587 0120-310-599	水道の使用開始・中止の手続き、水道料金・工業用水道料金・下水道使用料等の支払い、井戸使用水量の認定など
給排水サービス課	432-8695	給水装置工事審査・検査、水道メーター維持管理、下水道接続受付など
水道課	432-8643	水道事業の認可・申請・届出、水道施設の調査・計画策定
下水道課	432-8792	下水道事業の計画決定・事業認可、下水道受益者負担金の賦課・徴収など
上下水道施設管理センター	432-8570	水道・下水道施設の維持管理、工事立ち合い
東・西上下水道サービスセンター	東 467-5816 西 465-2164	東：大沢野・大山・細入地域、西：婦中・八尾・山田地域の水道使用開始・中止の手続き、水道料金・下水道使用料などの支払い
流杉浄水場	423-4051	施設の管理、水質検査など
浜黒崎浄化センター	438-5235	施設の管理、汚水や生活廃水の処理
水橋浄化センター	478-2984	施設の管理、汚水や生活廃水の処理